No.439

広報 みぶ

7年12月

大きなサツマイモが採れて
大喜びの２年生
（11月４日、安塚小学校）

泥だらけになりながら
大根を掘り出す１・２年生
（11月21日、羽生田小学校）

農業の素晴らしさを体験

収穫を喜ぶ

「わくわく農業体験モデル事業」のモデル校である羽生田・安塚両小学校では、実りの秋を迎えた10・11月を中心に、子どもたちが体験スクール農園で育てた稲や大根、サツマイモなどの収穫をしました。

また、採れた作物をふかしいもやけんちん汁などに料理して全校生徒で味わい、植付けから収穫までの農業の素晴らしさを体験しました。

発行　壬生町役場　編集 総務部企画財政課　毎月15日発行　〒321-02 栃木県下都賀郡壬生町通町12番22号　☎0282-82-1234

覧ください

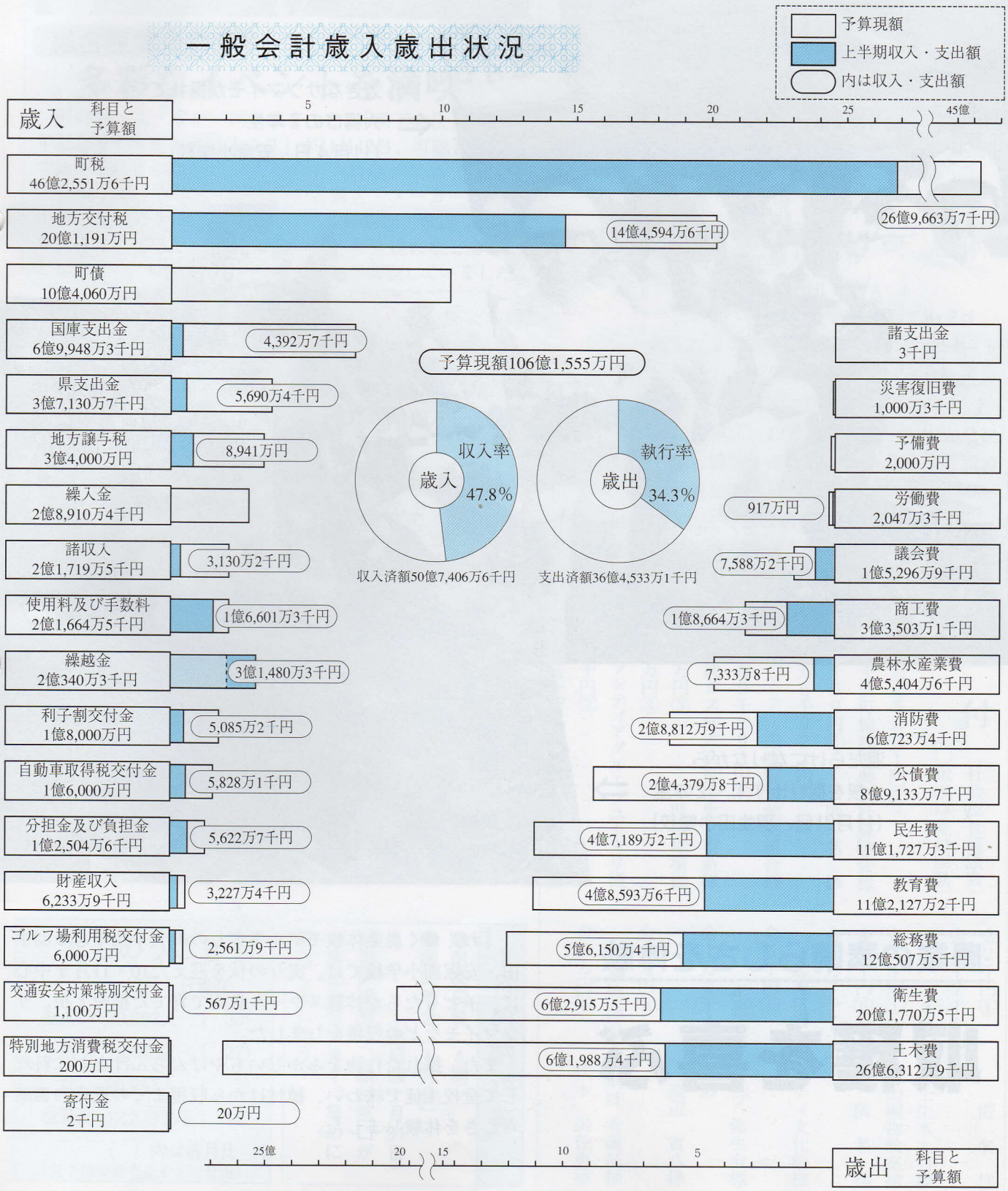
財政状況報告

平成７年９月30日現在

町では、みなさんに町の財政状況を正しく理解していただくとともに、納められた税金や国・県支出金がどのように使われているかを知っていただくために、「財政状況の公表に関する条例」に基づき、年に２回公表しております。（「広報みぶ」６・12月号に掲載。）

今回は、平成７年度上半期（平成７年４月から９月30日）の収入・支出の状況についてお知らせします。

一般会計歳入歳出状況



町の家計簿をご

平成７年度上半期

特別会計

国民健康保険

予 算 額　22億 9,318万 3千円
収入済額　 9億 5,921万 4千円
支出済額　 7億 4,835万 1千円

公共下水道事業

予 算 額　18億 9,210万 1千円
収入済額　 2億 6,796万 6千円
支出済額　 3億 8,891万 9千円
※収支の不足額は、一般会計から運用しました。

奨学資金

予 算 額　143万 6千円
収入済額　133万 4千円
支出済額　133万 3千円

老人保健事業

予 算 額　21億 7,942万円
収入済額　 9億 4,072万 2千円
支出済額　 8億 8,617万 5千円

農業集落排水事業

予 算 額　7億 1,319万 1千円
収入済額　1億 3,820万 4千円
支出済額　1億 6,018万 9千円
※収支の不足額は、一般会計から運用しました。

総合公園用地先行取得特別会計

予 算 額　4億　30万円
収入済額　0円
支出済額　0円

壬生町環境センター（平成８年３月完成予定）

（厚生年金・国民年金積立金還元融資施設）

税の負担状況

1人あたり
61,103円

1世帯あたり
197,657円

町民税	固定資産税	都市計画税	町たばこ税	軽自動車税	合計
16,940円	36,536円	5,049円	1,712円	866円	61,103円
54,798円	118,188円	16,332円	5,537円	2,801円	197,657円

水道事業

収益的収支

予 算 額　4億 7,154万円
事業収益　3億 4,570万 9千円
事業費用　3億 2,517万 9千円

資本的収支

予 算 額　5億 7,236万 8千円
資本的収入　0円
資本的支出　1億　61万 6千円

※資本的収支の収入が支出額に対して不足する額は、過年度・当年度分損益勘定留保資金および建設改良積立金で補てんしました。

国際的な住民のスポーツ意欲と健康意識を考える

第5次海外行政視察団が欧州3か国を歴訪

清水町長を団長とする第5次壬生町海外行政視察団22名が、11月9日から18日までの10日間、イギリス、ドイツ、フランスを歴訪。健康と文化のまちづくり及び住民のスポーツ意欲と健康意識の現況を見聞し、国際的な認識と理解を深めてきました。

カウフベウレン市のアイスホッケー場

イギリス・ドイツ・フランスを視察して

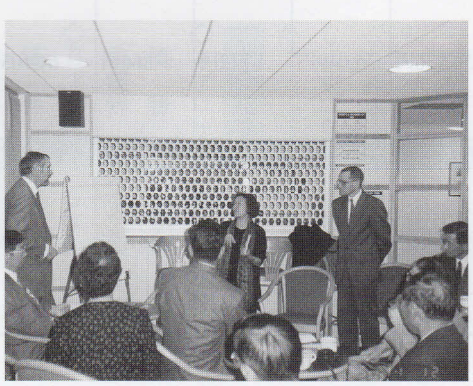
第5次海外行政視察団は、11月9日から11月18日までの10日間、イギリス、ドイツ、フランスを視察してまいりました。

本事業は、国際化の進展に伴い、地方がそれぞれの特色を生かした多様な国際交流を構築することが望まれる時代を迎え、住民に最も身近な行政主体として、住民の国際理解の促進、国際交流関連情報や国際交流の機会の提供を図り、国際的視野を広げ本町におけるまちづくりや地域文化の振興に寄与していただくため、平成3年度から実施しているものです。

近年、余暇時間の増大と健康指向の高まりから、住民のスポーツ・レクリエーションの要望は多様になっており、従来の競技スポーツの普及に加え、生涯スポーツの観点から高齢者をも含めた各世代に見合う様々なスポーツの普及が求められています。

本町においては、ふれあいプールや総合運動場などの社会体育施設に加え、陸上競技場が整備され、近い将来には体育館の建設が予定されております。従って、これらの施設を活用したスポーツ・レクリエーションの活発化が期待されており、今後は、自治会やコミュニティなどを単位とした地域活動を活発化し、地域ぐるみでのスポーツ・レクリエーションの活発化を図ることが望まれています。

こうした状況を踏まえ、今回は、イギリスなどヨーロッパ諸国の健康と文化のまちづくり及び住民のスポーツ意欲と健康意識について」視察し、国際的な理解と認識を深めるとともに、本町の生涯スポーツの振興等に役立てていただくことを目的とした視察でした。


ミッドウェイスポーツセンターの研修風景（イギリス）

イギリスのスポーツ施設の現況

最初の視察地イギリスでは、バークシャー・カウンティ（県）にあるレディング市（人口約13万4千人）の“リバーミードレジャーコンプレックス”を視察させていただきました。ここでは、レディング市議会の芸術・レジャー委員会副委員長（リチャードさん）と事務局の方の案内で施設内を見学させていただきましたが、中では、室内プールで遊ぶ子供たち、スカッシュやエアロビクスなどで汗を流す若者、ボウリング（鉄のボール投げ）を楽しむ高齢者の人など、それぞれ思い思いにスポーツを楽しんでおり、また、暖房設備のある体育館では、犬のコンテストが行われており、ここではこの他ポップスコンサートやロックフェスティバルなど多目的に利用され、また、屋外には、ラグビー場、ゴルフ練習場、公園などがあり、スポーツのための施設でありながら複合的なレジャー施設という感がいたしました。なお、来年度はこの施設を会場として世界障害者（WOM）のテニス大会が開催されるとのことでありました。

次に案内していただいた、同市内の“ミッドウェイスポーツセンター”は、小学校に隣接した場所にあるため昼間は小学校で利用し、夕方からは市議会が運営し、一般市民が利用するという有効利用がはかられていました。

レディング市には、この様な施設が市内に8カ所在り、年間利用者数は延約200万人という高い利用率をほこっており、すべての施設が、高齢者、女性、子供、社会的弱者などへ配慮された気軽に楽しめるレジャーのためのスポーツ施設であるとともに、周辺関連施設の整備が図られているなど、これからの日本の自治体のスポーツ施設もこの様な利用価値の高い施設整備が必要ではないかと痛感いたしました。

また、イギリスではロンドンの市内見学の途中“ロンドンおもちゃ博物館”を見学させていただきましたが、この博物館は施設規模こそ本町のおもちゃ博物館より小規模ではありましたが、小さなスペースに年を経た貴重な展示品が非常に工夫して陳列されており、これからの本町のおもちゃ博物館の運営に大変参考になりました。

ドイツにおける生涯教育

次に訪れたドイツでは、バイウレン州カウフベウレン市（人口4万3千人）の市民大学における生涯教育を視察いたしましたが、ドイツでは、社会教育は州法で定められておりこれに基づき地方自治体が実施するとのことでありました。ここでの成人教育は義務教育の不足を補うための教育であり、政治学から哲学、語学、芸術、スポーツ、健康教育などの各種講座が設けられ、夜間、週末など自分の余暇にあわせ自分の勉強したい講座を選んで受けられるシステムになっており、年間の受講者は約9、000人にのぼり、すべて登録制になっています。私達が訪問したときには、高齢者の人達が絵画や英語を楽しんで勉強している様子を見学させていただきましたが、同大学のシュミットさんのお話では、この様な講座を通して高齢者の人達の仲間意識が非常に強くなってきて、仲間の誰か一人が講座を休むと皆で心配してその人の家に訪ねて行くとのことであり、大変微笑ましく感じました。

カウフベウレン市の市民大学を視察（ドイツ）

ドイツにおいては、社会教育と同様、文化に関する権限は州にあると考えられており、文化・スポーツに関する施策等を州以下の自治体が担っており、カウフベウレン市でもプロのアイスホッケーチームを有するなどスポーツを核とした地域振興が図られておりました。

ドイツでは、白鳥王ルートヴィッヒⅡ世が築いたノイシュヴァンシュタイン城や90年も前に造られ今も精巧に作動しているミュンヘン市役所の“からくり時計”などを見学して参りました。

エッフェル塔からのパリ市内

最後の訪問国フランスでは、ルノワール、モネ、ゴッホなど印象派の美の殿堂といわれ、かつては駅舎だったというオルセー美術館、世界に誇る美の回廊ルーヴル美術館、季節の花が咲き誇る大庭園を有する太陽王ルイ14世の築いた壮麗なヴェルサイユ宮殿、シャンゼリゼ大通りから見た威風堂々たる姿の凱旋門など、さすが芸術の国フランス、そのスケールの大きさにあらためて感嘆いたしました。

今回3カ国を視察して参りましたが、ヨーロッパの文化、芸術の偉大さと、街路、公園などの広大さと美しさは何度見ても目を見張るものがありました。そして、イギリスのスポーツ施設視察及び生涯スポーツ政策の研修、ドイツの市民大学における社会教育と健康教育など、私にとりましても、街づくり推進の基本として、平成8年度からスタートする壬生町第4次総合振興計画のスローガンである「夢と活力にあふれた緑園都市・みぶ」を推進していくうえで、大変参考になった視察でありました。

また、団員の皆様もそれぞれに収穫の多い視察研修であったことと思いますが、今後は地域のリーダーとしての活躍と本町の街づくり事業へ積極的に参加して下さることを期待しております。

最後に視察期間中、副団長さんはじめ、班長さん、各団員の皆さまのご協力をいただきまして、無事に帰国できましたことを深く感謝申し上げます。

第5次壬生町海外行政視察団
団長　清水　英世

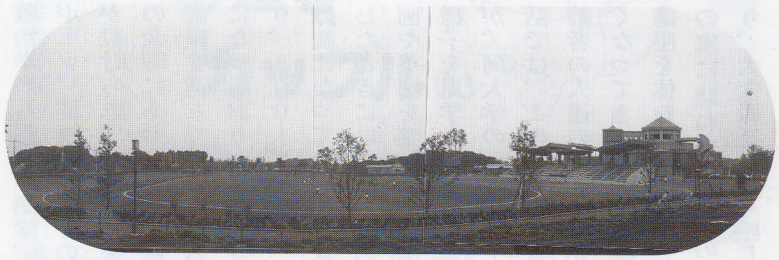
第5次海外行政視察団団員（22）名

班	役職名	氏名	歳	備考
1	団長	清水　英世	64	町指名（町長）
〃	副団長	川島　芳之	54	団体推薦（町議会議員）
〃	班長	石村　壽夫	53	〃（町議会議員）
〃	団員	濱野　信三	74	〃（町農業委員会委員）
〃	〃	鈴木　正美	46	〃（町消防団副団長）
〃	〃	高橋　良子	62	〃（町体育指導委員）
〃	事務局	鈴木　節子	43	〃（町生活改善クラブ副会長）
〃	〃	佐藤　和明	46	町指名（町職員）
2	班長	鈴木　隆正	43	一般公募
〃	団員	野口　栄子	64	団体推薦（町婦人会副会長）
〃	〃	江田　清子	60	〃（町商工会婦人部副会長）
〃	〃	鳩山　邦雄	61	一般公募
〃	〃	齋田　晃男	63	〃
〃	〃	石崎　典子	59	〃
〃	〃	中田　洋子	54	〃
〃	〃	大栗　宗二	71	〃
3	班長	玉田　秀夫	42	一般公募
〃	団員	水野　金夫	77	〃
〃	〃	八木　良之	48	〃
〃	〃	高間　信義	65	町指名
〃	〃	温井　櫻子	54	一般公募
〃	〃	小林　トシ	60	〃

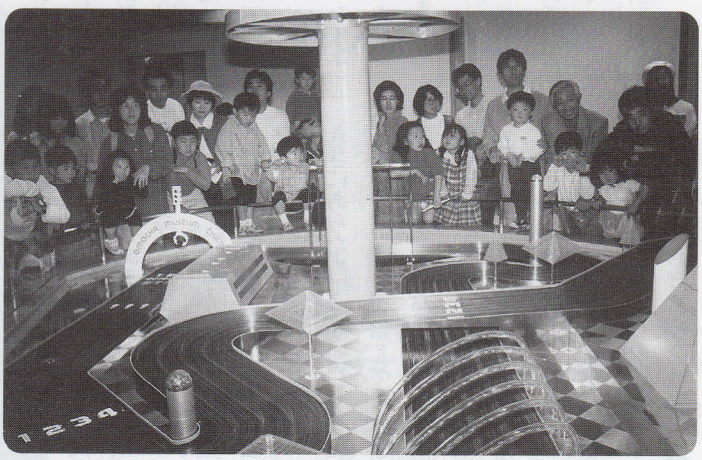
り返って

今年も残り少なくなり、あわただしい師走となりましたが、みなさんはこの１年、どんな年だったでしょうか。
　町の主なできごとを見ながら、この１年をふり返ってみましょう。

主なできごと



555人の門出を祝い成人式が行われる（1/15）



4月、壬生町総合公園一部オープン（写真・陸上競技場）

4月23日のオープン以来、大ぜいの入館者で賑わうおもちゃ博物館

週休2日制の定着に伴う窓口サービスの改善を図るため、土・日曜日、祝日でも住民票の写しや印鑑証明の交付が可能な自動交付機が稼働（7月3日）

1月
5日・賀詞交歓会
15日・成人式（555人が新成人に）
27日・町の行財政運営が評価され、全国町村会より優良町として表彰を受ける
31日・阪神大震災被災地救援活動（町内企業や町職員等、随時）

2月
3日・立志式（壬生・南犬飼中）
4日・女性のつどい
8日・老人演芸大会及び作品展
12日・第8回町綱引き大会
16日・阪神大震災被災者へ義援金を送る（町自治会連合会）
19日・北公民館まつり
25日・公民館、資料館まつり（～26日）
・消費生活展（～26日）
26日・第9回町民剣道大会

3月
7日・第1回定例議会（～16日）
10日・卒業式（壬生・南犬飼中）
17日・卒業式（各小学校）
20日・くらしのみちづくり基本計画承認を受ける（くらしのみちづくり計画策定委員会）
23日・保育園卒園式

4月
1日・壬生町総合公園一部オープン
5日・保育園入園式
9日・栃木県議会議員選挙
10日・入学式（壬生・南犬飼中）
11日・入学式（各小学校）
20日・おもちゃ博物館開館記念式典
23日・おもちゃ博物館オープン
27日・家庭緑化用苗木無償配布
29日・春の叙勲・褒章で梁島庄左衛門氏（鹿島）が勲五等瑞宝章、梁島安男氏（鹿島）が藍綬褒章を受章
30日・第14回町消防団ポンプ操法大会

5月
4日・おもちゃ博物館入館者数10万人達成
5日・第7回町民ゴルフ大会
21日・第2回定例議会（～26日）
25日・第9回町民柔道大会
29日・道路愛護連合会表彰（恵川土地改良区、本郷七福会）

6月
4日・おもちゃ博物館入館者数5万人達成
21日・第12回町テニス、バドミントン大会

7月
1日・青少年健全育成町民のつどい
・人見城民記念室開設（町歴史民俗資料館）
3日・住民票・印鑑登録証明書自動交付機稼働（カードによる印鑑登録開始）
7日・八坂祭（～16日）

今年をふ

平成7年の

楽しかった、第2回ファミリー体育祭（10月10日）

宿泊研修を通じて子どもたちの自立性を育てる（8／3・児童文化教室）

手づくりおもちゃ展

国民文化祭・とちぎ95「国際おもちゃフェスティバル」がおもちゃ博物館、陸上競技場を会場に行われ、延べ5万人を超える入場者で賑わう。（10月27日～11月4日）

手作りおもちゃ教室

建設省手づくり郷土賞「歴史・文化部門」に『舟町通り』が認定を受ける（7月10日）

8月

1日・町消防団夏季点検
3日・児童文化教室「宿泊研修」（～5日）
6日・平和講演&映画のつどい
9日・議員全体研修（姉妹都市・水口町視察　～11日）
19日・ふるさとまつり（～20日）
22日・町長の高齢者訪問（～25日）
24日・県議会土木委員会が北関東自動車道（仮称）壬生IC予定地を現地調査
27日・町長杯ゲートボール大会（～8月27日までの4回）

9月

6日・第3回定例議会（～8日）
20日・第20回交通安全町民大会
22日・敬老のつどい
28日・藤井橋開通式

10月

1日・第10回健康ふくしまつり・国勢調査
8日・第17回壬生町文化祭（～11月26日）
10日・第2回壬生町ファミリー体育祭
10日・手づくり郷土賞「歴史・文化部門」で『舟町通り』認定が受ける
23日・参議院議員通常選挙
26日・新ALTリチャード・テイラーさん（英国）着任
親子ふれあい教室（～8月27日までの4回）

11月

1日・壬生町エイズ教育（性教育）推進地域事業公開研究発表（会場　壬生中）
2日・自治功労者6名を表彰
9日・第5次壬生町海外行政視察団24名イギリス、ドイツ、フランスを視察（～18日）
12日・総合産業まつり・第11回町バスケットボール大会（11／19）
18日・モスクワ管弦楽団演奏会
21日・第8回町民ゴルフ大会
27日・「町長さんこんにちは」4地区で実施（～28日）

12月

1日・町消防団通常点検
3日・第4回町健康ロードレース大会
12日・第4回定例議会（～21日）
12日・第18回老人スポーツ大会
22日・おもちゃ博物館入館者数20万人達成・第8回企画展「王者の家」展（～11月23日）
27日・国民文化祭「国際おもちゃフェスティバル」（～11月4日）
28日・秋篠宮殿下・同妃殿下「国際おもちゃフェスティバル」ご視察
31日・姉妹都市水口町議会来町

第６回特別展

『種痘医 齋藤玄昌展』を開催

◆期　間　平成８年１月28日～３月10日
◆会　場　町歴史民俗資料館
◆入館料　高校生以上２００円

ジェンナー種痘発明200年を記念して

町歴史民俗資料館では、第６回特別展として郷土の先覚者「種痘医齋藤玄昌展」を、栃木県医師会、下都賀郡市医師会、壬生町医師会、ＮＨＫ宇都宮放送局、下野新聞社の後援をいただき開催します。

江戸幕末の蘭方医で、種痘の研究者であり予防衛生に献身した先覚者として、壬生藩の種痘行政に実績を挙げ、まさに“下野のジェンナー”と呼称されてもよい人物がいます。彼は、壬生藩の侍医（御殿医）で、名を齋藤玄昌といいます。いま、なぜ齋藤玄昌の生涯を振り返るのか。奇しくも、来年はイギリスのエドワード・ジェンナーが種痘を発明して２００年を記念する年です。

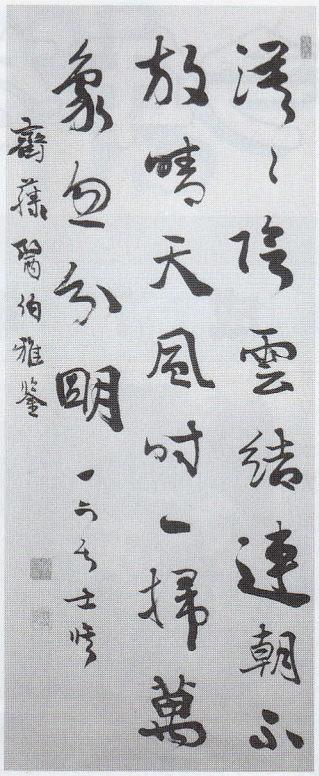
人類は、長い歴史の中で幾多の伝染病に悩まされてきました。その中でも天然痘は、最も恐ろしいものでした。しかし、天然痘も１７９６年ジェンナーによって発明された種痘によって予防できるようになり、昭和55年（１９８０年）にはＷＨＯ（世界保健機関）から根絶宣言がだされました。

嘉永２年（１８４９年）７月に長崎において日本最初の接種に成功した種痘は、その翌年２月には壬生に伝わりました。そのかげには西洋医学を学んだ医師たちの熱意と献身的な努力があったことを忘れることはできません。

この展示では、壬生藩を中心に全国各地における医師たちの種痘法への取り組み、そして齋藤玄昌の人となりを、Ⅰ日本近代医学のあけぼの、Ⅱエドワード・ジェンナーの種痘発明、Ⅲ日本各地における種痘普及活動、Ⅳ痘医 齋藤玄昌、Ⅴ明治期栃木県における種痘普及活動の五テーマで構成し紹介します。

この機会にぜひ、多くの方々にご来館いただき、近代医学の先駆者・齋藤玄昌の偉大な業績や人柄をご覧ください。

ジェンナー木彫り立像（米原雲海作）



◎玄昌（元昌）を讃える詩（巌谷一六筆）

漠々陰雲結　連朝不放晴
天風時一掃　萬象忽分明

齋藤医伯　雅鑒　一六居士修

今回の史料所在調査によって栃木市から発見されたものです。

その内容は「薄暗い雨雲が集まり毎朝晴れない。しかし、時に空に風が吹けばすべての物がたちまちのうちにはっきりする」と名医・齋藤家を比喩した、五語絶句の詩が確認できました。「齋藤医伯」とあるので、玄昌・元昌父子にたいする為書（ためがき）でしょう。

作者は「明治三筆・巌谷一六（めいじさんぴつ　いわやいちろく）」です。

【特別展記念講演会】

「壬生藩医 齋藤玄昌の業績を中心に」
～その時代の医学について～

・講　師　順天堂大学医学部医史学教授
　医学博士　酒井　シヅ先生

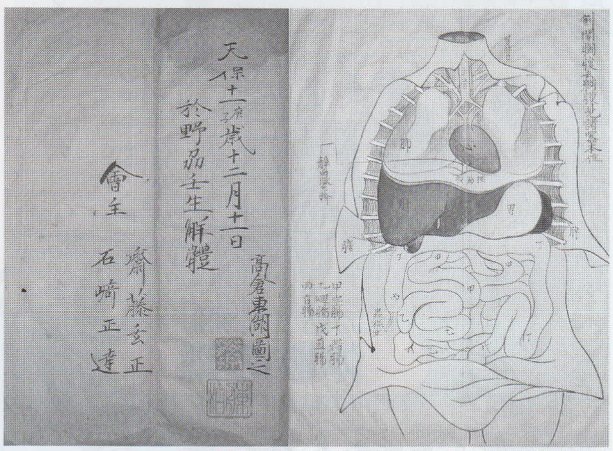
◇日　時　平成８年３月３日（日）
　午後１時30分～
◇会　場　壬生中央公民館研修室
◇定　員　１００名（聴講無料）
※聴講希望の方は、町歴史民俗資料館（☎82―０１０８）までお申し込みください。

展示品紹介

Ⅰ、日本近代医学のあけぼの

日本最初の人体解剖書である山脇東洋の「蔵志」（京都大学蔵）をはじめ、頭部解剖の最初の記録である河口信任の「解屍編」（京都大学蔵）、日本における西洋解剖書の本格的な翻訳書である杉田玄白の「解体新書」（京都大学蔵）、下野国における最初の解剖書である諸葛琴台の「解屍新編」（京都大学蔵）、そして下野近代医学の基礎を築いた齋藤玄昌の「解体正図」を紹介します。

なお、今回の調査で「解体正図」を4つ確認し、このうち3つ、浜松医科大学図書館所蔵品、五十嵐三男氏所蔵品、壬生町所蔵品を一堂に公開します。

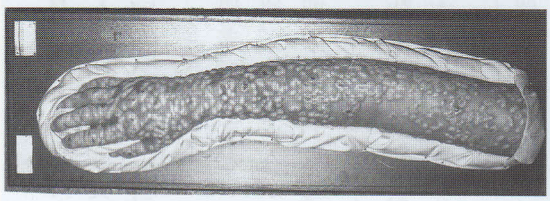


→解体正図（齋藤玄昌著）

←解体新書（杉田玄白著）

Ⅱ、エドワード・ジェンナーの種痘発明

今となっては、幻の伝染病である天然痘を観察できる「天然痘ムラージュ」（東京大学医学部蔵）をはじめ、日本に唯一現存する米原雲海作の「ジェンナー像」（東京芸術大学蔵）、そしてジェンナーの原著である「牛痘の原因および作用に関する研究」（野間科学医学研究所蔵）を紹介します。

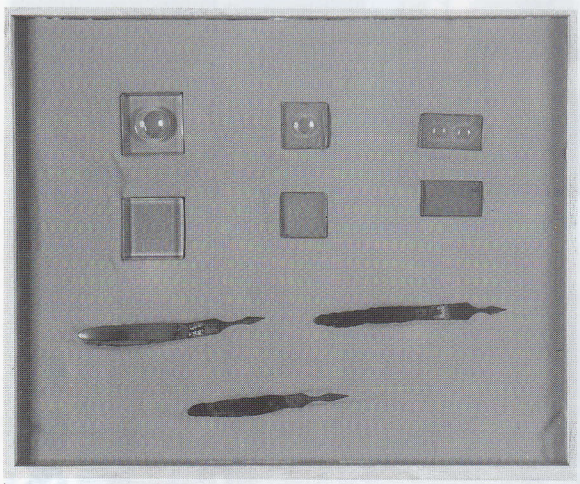


天然痘ムラージュ

Ⅲ、日本各地における種痘普及活動

今回の調査で壬生藩（3万石）は、長州藩（37万石）、佐賀藩（36万石）、福井藩（30万石）と並びわが国の牛痘種痘史上、不朽の業績をあげたことが「嘉永3年万覚日記」（粂川芳雄氏蔵）、「嘉永3年御用留」（三和町蔵）などから分かりました。

ここでは下野予防衛生の始まりとなった壬生藩の種痘行政を紹介します。

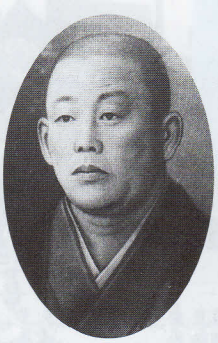


当時の種痘接種器具

Ⅳ、痘医 齋藤玄昌

今回の調査で齋藤玄昌は、二宮金次郎（報徳仕法の主催者）の主治医であることが分かりました。なぜ、玄昌を求めたのかは「医学の道の権威者」と評判の高い名声を慕って主治医としている事実が「報徳全書」（今市報徳二宮神社蔵）から分かりました。ここでは「報徳全書」に見る齋藤玄昌を紹介します。

二宮金次郎翁肖像



二宮弥太郎翁肖像

Ⅴ、明治期栃木県における種痘普及活動

今回の調査で栃木県下は、明治7年の「種痘規則」公布によって62名の医師たちが大同団結し種痘防疫事業を実施した事実が「栃木県史料」（国立公文書館蔵）から分かりました。ここでは、この種痘防疫事業の中心的人物であった壬生・齋藤元昌（三代）、大田原・北城諒斎、足利・早川俊堂らの活躍を紹介します。

器用に風船細工を作る外国人パフォーマー

国際おもちゃフェスティバル のべ5万人の入場者でにぎわう

10月27日から11月4日まで開催された第10回国民文化祭・とちぎ95「国際おもちゃフェスティバル」、会期中はのべ5万人を超える入場者でにぎわい、大盛況のうちに終了することができました。

会期中は、おもちゃ博物館を会場に「学びの森コーナー」、総合公園陸上競技場を会場に「ふれあいの森コーナー」「体験の森コーナー」が設けられ、多彩なイベントが催されました。

今月号では、写真を中心に「国際おもちゃフェスティバル」をご紹介します。

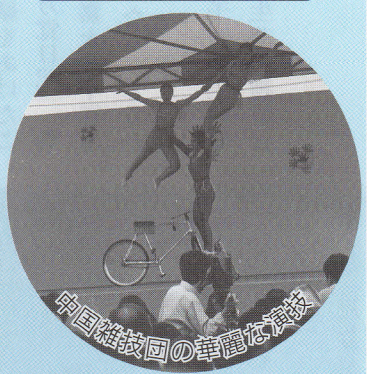
学びの森

各国のおもちゃが勢揃い

「世界のおもちゃ展」

ふれあいの森

有田気恵さんのトークショー


中国雑技団の華麗な演技

体験の森

「手作りおもちゃ教室」

真剣におもちゃ作りに取り組む児童たち ⇐

青空のもとで茶席を体験 ⇒

「野点」(町文化協会)

町関係団体の公演

「円仁太鼓」(壬生寺保育園園児)

「かんぴょう音頭」(藤井小学校児童)

「マーチングバンド」(国谷幼稚園園児)

「おもちゃの歴史展」を開催

足利銀行壬生支店では、国際おもちゃフェスティバルの事前PRとして、昭和50年代のおもちゃ、おもちゃの歴史を描いた行員手作りのおもちゃ絵巻などを展示、来店客の目を楽しませていました。

町政について自治会と意見交換

『町長さんこんにちは』行われる

町自治会連合会（石川昭三会長）と清水町長との町政懇談会「町長さんこんにちは」が、11月27日に保健福祉センター、28日には安塚地区コミュニティセンターと稲葉地区公民館で行われました。

町からは清水町長をはじめ、福島助役、毛塚収入役、榎本教育長、総務・民生・経済・建設の4部長、教育次長が出席、各自治会長から出された道路整備や福祉関係などの生活に密着した意見・要望・質問などに、町長以下関係部長が一つずつ回答、町の発展のための活発な意見交換が行われました。

壬生地区懇談会のようす

国民文化祭にあわせ古経展を開く

古経展のようす

常楽寺では、10月28日から11月3日まで当寺の寺宝館で古経展を開催し、聖徳太子や慈覚大師などが書いた古経や、朝鮮やチベットなどの海外の古経、車塚古墳や茶臼山古墳などから出土された鉄剣や円筒はにわなど、飛鳥時代から室町時代までの歴史的文化財が展示されました。

これは、歴史的な文化について知ってもらおうと、「国民文化祭・とちぎ95」の会期にあわせて行われたもので、訪れた人たちは解説員の説明を受けながら、展示された文化財に興味深く見入っていました。

浙江省国際交流担当者訪問団

おもちゃフェスティバルが縁で本町を訪問

中国の浙江省国際交流担当者訪問団（王凱捷（おうがいしょう）団長）5名が11月27日から30日まで県内5市町村を表敬訪問しました。

国民文化祭・とちぎ95「国際おもちゃフェスティバル」のイベントとして10月29日に中国雑技団の公演をお願いした縁で、同訪問団は11月28日に当町を訪問、おもちゃ博物館を見学した後、（財）施設振興公社会議室にて懇談会が行われ、互いの町や省についての説明や質問などが終始和やかに交わされ、親睦を深めました。

訪問団と行われた懇談会のようす

法務大臣表彰

25年間保護司として活躍

福田キヨさん（六美町南部第二）は、昭和46年12月から平成7年10月までの25年間の長きにわたり保護司として活躍。その業績が認められ10月18日法務大臣から感謝状並びに11月8日には法務大臣から表彰を受けられました。

福田さんは、保護司として活躍するほか、壬生町更生保護婦人会会長や町民生委員などの要職を務められました。

また、地域においては、婦人会活動や生け花などを通して地域のリーダーとして活躍しています。

STOP AIDS 考えてみませんか！

お子さんの性教育・エイズ教育を

壬生町エイズ教育（性教育）推進委員会

「世界エイズデー」に

12月１日は「世界エイズデー」でした。世界エイズデーは国際連合の専門機関の一つである、ＷＨＯ（世界保健機関）が１９８８年にエイズの拡大を防止するとともに、エイズウィルス（ＨＩＶ）感染者とエイズ患者に対する差別、偏見をなくすことを目的として定めたものです。

８年目を迎えた今年は「エイズに取り組む――人ひとりの権利と責任」がテーマでした。

最近は、多くの関係機関などの働きによりエイズ問題に対する社会の理解もだんだんと深まってきたようです。

しかし、「エイズ薬害訴訟和解勧告」や「第４のエイズ感染ルート」、「偏見、差別の解消を訴える感染者・患者」等がマスコミの話題となっているように、エイズ問題はまだまだ社会の大きな問題の一つとなっています。

９月から２か月間にエイズサーベランス委員会に報告のあった感染者・患者は85人で、日本人の感染者・患者は60人と過去最高になっているとのことです。また、エイズ薬害訴訟の原告たちの大半が、偏見や差別を恐れ実名を公表していないことにみられるように、社会におけるエイズ感染者・患者への偏見・差別はまだまだ見られるのが現状です。

エイズ問題は私たち一人ひとりにとって関係ないとはいっていられない状況にあります。

世界エイズデーを機会に、あらためて「エイズに取り組む――人ひとりの権利と責任」を考え、子どもたちのエイズ教育のあり方やエイズ問題を考えてみたいものです。

中学校でのエイズ教育

中学校では、どの学年でも年間に１～２時間をとり、エイズ教育を行っています。今回は、１年生の授業についてお知らせします。

１年生は「エイズについて正しい知識を知ること」をねらいとして授業を行っています。実際には、生徒たちが「世界、日本の感染者・患者数や年齢別感染者数」や「免疫」「ＨＩＶの特徴」「エイズの症状」等を資料などを使って調べ発表会をします。

それらを通して・エイズはＨＩＶが原因であること・現在のところ効果的な治療方法が見つからない・ＨＩＶは感染力が弱く予防が可能であることを学びます。

授業を受けた生徒の感想の一部

- ＨＩＶは意外と感染力が弱いことが分かった。正しい知識を身につけることが大切だと思った。
- もしかして、エイズの人が近くにいるかもしれない。でもエイズは予防できるのであまり怖がらないようにしたい。
- 知らないことがたくさんあった。自分の体は自分で守るしかないと思った。

ミニ知識 その22 エイズ

監修　栃木県伝染病予防調査協議会会長
栃木県連合学校保健会会長
松　本　　幸　三

エイズとともに生きる社会を目指して（1）

私たち一人ひとりが誤解や偏見を取り除かないかぎり、「エイズとともに生きる社会」の実現は不可能です。

そのために私たちは、次のようなことを心掛けたいものです。

①正確な知識を積極的に学ぶ

まず、エイズを正しく理解することが先決です。自分には関係ないなどと思わないで、エイズに対して広い視野をもつことが大切です。

②性行動を考える

性が生命の根源であり、「性は生なり」ともいわれることを真剣に考え、衝動的なあるいは不用意な行為にともなって感染の可能性があることをしっかりと自覚し、責任ある性行動をとることが大切なことです。

③患者・感染者の立場に立って考える

エイズ患者・感染者と日常的に接触しても感染することはありません。積極的に励ましの言葉をかけてあげたり、また、その人の思いに耳を傾けて、ともに行動することが感染者・患者の理解を深めることになるのです。

平成7年度空き缶等の散乱防止と
再資源化を進めるためのポスター・標語コンクール

大金 亮平くん（安塚小4年）最優秀賞を受賞

安塚小学校4年
大金亮平くん

環境美化の啓発運動の一助とするため、県主催による児童生徒を対象とした平成7年度空き缶等の散乱防止と再資源化を進めるためのポスター・標語コンクールが行われました。

県内の小・中・高校生からポスターの部14、934点、標語の部5、280点の作品が寄せられ、10月5日に県の最終審査会が行われ、ポスターの部で本町の大金亮平くん（安塚小学校4年）の作品「空き缶の山にはのぼれません」が小学校高学年の部において見事最優秀賞に選ばれました。

作品は、アルミホイルを利用し空き缶を形どり、空き缶等の投げ捨て禁止を呼びかけたものです。

ピカピカの栃木県

幼稚園児が環境美化活動行う

県幼稚園連合会、県幼稚園PTA連合会共催による「ピカピカの栃木県 公共施設美化10万人運動」が11月18日に県内で一斉に行われました。

これは、県内の幼稚園に通う園児が家族とともに環境美化活動を行うことによって、「家族のありかた」「環境」「公共心」について家族ぐるみで考えてもらおうと昨年から実施しているものです。

本町では、町内5つの幼稚園に通う園児とその家族など約1、700名が参加、城址公園や町総合公園、幼稚園周辺道路等のゴミや空き缶、落ち葉などの清掃を行い、地域の環境美化に努めました。

城址公園を清掃する園児たち

秋季総会行われる

壬生郷友会（太田金吾会長）の秋季総会が11月23日、東京都お茶の水で行われました。

町からは清水町長、荒川町議会議長が出席、国民文化祭、おもちゃ博物館、北関東自動車道の近況や舟町通りの手づくり郷土賞認定並びに蘭学通り、総合公園の整備状況が報告され、近代都市へと発展する郷土の姿に一同感銘を深くしていました。

また、会員一同から歳末助け合い慕金が一括して町長に委託され、盛会のうちに散会しました。

資料館コーナー

蘭学通りに活躍した明治期の医師たち(8)

岡田　久男（おかだ　ひさお）

○邸宅は、現在の「中央町・山縣博司氏宅」です。

旧壬生藩士・岡田重種（しげたね）の二男として1872年（明治5年）7月に生まれました。

壬生尋常高等小学校を卒業と同時に私塾に入門し、英・漢・数を学び、その傍ら壬生尋常高等小学校で教鞭を執りました。しかし、元来母親が病弱のため医学を志し五十嵐順知（旧壬生藩医）に入門しました。その後、1894年（明治27年）に東京医学専門学校（現東京大学医学部）に入学、1897年（明治30年）に医術開業免許状を下付され同年4月より東京帝国大学医科大学近藤外科において実地研究を行い、その傍ら陸軍軍医監・足立　寛に従いドイツ語を学び、1898年（明治31年）4月に東京帝国大学医科大学選科に入り小児科産婦人科を研究しました。また、同大学国家医学講習科、伝染病研究所講習科を卒業し、1902年（明治35年）4月に東京市芝区に小児科病院を開業しました。

久男は、さらに実地研究をするため1908年（明治41年）1月にドイツのミュウヘン大学に数年の間留学し、1913年（大正2年）には大学からドクトル・メジチーネの学位を得て同年6月に帰国し、8月に東京市芝区に開業しました。

なお、1909年（明治42年）医師法発布されると芝区医師会、東京府医師会、日本医師会を設立し各会の理事として医学発展のため尽力しました。1923年（大正12年）3月には日本医師会共済生命保険相互株式会社取締役兼支配人となり、1945年（昭和20年）郷里の壬生に開業しました。

久男は、1966年（昭和41年）11月、94歳で没しました。

次回は、勾坂　選翁です。

い広場

お達者カップル 83

原　坪
鯉沼　東作さん（８０）
　　トヨさん（７８）夫妻

「食べ物の好き嫌いをしないでいろいろな食物をとることと、農作業や草むしりなどで適度に体を動かしているのが健康のひけつになっているんじゃないですかね」という鯉沼さんご夫妻。

青春スケッチ 55

自然と親しめる生活が夢

六美町南二　　舩越　利恵子さん

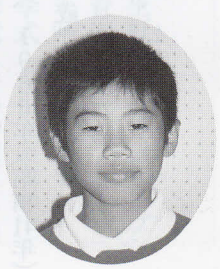
「小学生のころから現在も社会人のチームで続けているバスケットボールのほかに、テニス、スキー、スイミング、ハイキングなどいろいろなスポーツに挑戦しています」という利恵子さん。

長い休日のときは「国内外を問わず旅行をすることが多い」という彼女、「自然と親しめる所にログハウスを建てて友達と料理などを作って楽しめたらいいですね」と夢を話してくれました。

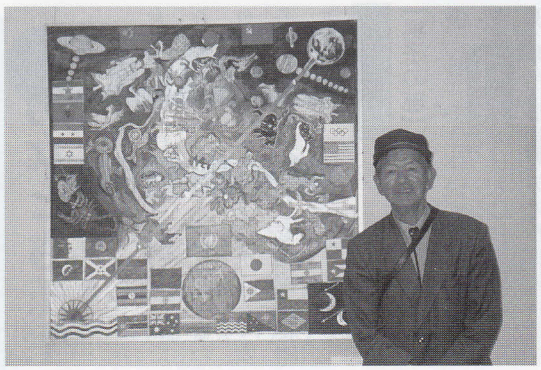
私の作品

壬生東小学校６年
早乙女　厚　子

「考える友だち」
壬生東小学校６年
岡　村　憲　男



ふれあ



入選作「宇宙の星と旗」と鈴木　井さん

第10回 国民文化祭・とちぎ95
美術展（洋画の部）で 鈴木井さんの作品が入選

第10回国民文化祭・とちぎ95「美術展」が、10月27日から11月５日まで宇都宮市の栃木県総合文化センターギャラリーで開催され、鈴木井さん（松原）の作品「宇宙の星と旗」が洋画の部で入選し、会期中に同ギャラリーに展示されました。

当作品は、左下に太陽、右上に月、太陽から月にのびている細長い線は太陽の光を表わし、またオリオン星座を光の中央にして、ベテルギウス、シリウス、プロキオンの冬の大三角をふくめた、一等星六個を結んでできる冬の六角形が紫色に描かれており、また、左上に土星、右下には水星と金星、中央下には国連旗と地球が表現されています。

天体が好きで、自作の天文研究所で天体観測をしていたという経歴をもつ鈴木さん、「この作品をみて天体に興味を持ってほしいですね。天体のように広い視野を持ち、スケールが大きくなるよう、特に子どもたちにみてほしいですね」と入選を喜んでいました。

東作さんは昭和４年に稲葉尋常高等小学校を卒業後、家業である農業に従事しましたが、昭和10年に現役兵として朝鮮75連隊に入隊し、昭和12年に除隊するまで北朝鮮の會寧で国境警備にあたり、その後、昭和13年に臨時召集を受け、約３カ月間兵役を務めました。

そして、上稲葉出身で昭和６年に稲葉尋常高等小学校を卒業後、実家で農業をしていたトヨさんと昭和15年に結婚しましたが、昭和19年に再び召集により、宇都宮市の第71連隊に入隊、終戦を迎えて召集が解除された昭和20年に実家に戻り農業を再開、現在も息子さん夫婦を主力としていっしょに農業を続けています。

東作さんはゲートボールを10年ほど前から始めたそうで、「週２回の練習日に、皆さんと話をするのも楽しみのひとつなんですよ」と話していました。そのほか、30年ほど前から日記を書いているそうで、「もう日課みたいなもので書かないと逆に落ち着かない」ということです。

年に数回、兄弟と一緒に温泉旅行に出掛けるというお二人、「うちは４世代の大家族ですが、しっかりした家族に恵まれて幸せですね」と話してくださいました。

チビッ子アルバム

真作ちゃん（２歳・左）・真人ちゃん（１歳）

（父）小笠原　真理生さん
（母）〃　　和歌子さん
（県営壬生住宅）

お母さんから一言

いつまでも兄弟なかよくしてね！

彗嗣ちゃん（３歳・左）・ちなみちゃん（１歳）

（父）小島　安規男さん
（母）〃　佳　苗さん
（県営壬生住宅）

お母さんから一言

明るく、やさしい子になってね。

町バスケットボール大会

男女とも壬生体協チームが優勝

第11回壬生町バスケットボール大会が11月12、19日の両日にわたり壬生中学校第1体育館で行われ、町内外から男子9チーム、女子6チームが参加して熱戦が展開されました。

成績

【男子の部】
優　勝　壬生体協チーム
準優勝　佐野日大ＯＢチーム
3　位　都賀クラブチーム

【女子の部】
優　勝　壬生体協チーム
準優勝　都賀クラブチーム
3　位　獨協Ｂチーム

男女とも優勝の壬生体協チーム

壬生北クラブ新人戦を制す

第14回学童少女新人戦ソフトボール大会が10月15日、22日の2日間にわたり、町総合運動場において、町内の学童少女6チームが参加して行われました。

22日の決勝戦には、壬生東クラブと壬生北クラブが駒を進め、熱戦の末、壬生北クラブが20対10で壬生東クラブを破り優勝しました。

なお、壬生北クラブは11月11・12日に行われた県学童少女新人戦大会に出場し準優勝となりました。

優勝の壬生北クラブチーム

サッカーを通して親睦を図る

睦サッカースポーツ少年団（川村光政代表）・睦小サッカー部（一倉邦夫部長）主催の第4回睦杯交歓サッカー大会が11月11・12日の両日、町内の小学校、石橋、宇都宮のサッカーチーム24チームが参加して、町内の参加小学校と古山小学校を会場に行われました。

これは、多くの少年・少女にサッカーの楽しさを知ってもらうとともに、技術の向上や親睦、交流を図ることを目的に、町スポーツ少年団や睦ＦＣ、会場地の父母等の協力を得て行われているものです。

大会は、各チームを3ブロックに分け全員参加で行われ、すばらしい秋空のもと、各チームとも日ごろの練習の成果を十分に発揮し、すばらしい熱戦が展開されました。

大会結果

◇Ａブロック（6年生中心）
優　勝　五代小学校
準優勝　明保小学校

◇Ｂブロック（5年生中心）
優　勝　壬生東小学校
準優勝　石橋小学校

◇Ｃブロック（4年生中心）
優　勝　石橋小学校
準優勝　睦小学校

大会のようす

町民ゴルフ大会

83名が自慢の腕を競う

第８回壬生町民ゴルフ大会が11月21日、星の宮カントリー倶楽部で行われました。

大会には、男子の部71名、女子の部12名の計83名が参加し、日ごろ鍛えた自慢の腕を競い合いました。

各部門の入賞者は、次のとおりです。

男子の部		ネット	グロス
優　勝	宇賀神　寿	66.4	76
準優勝	橋本　利一	67.2	84
3　位	早坂　英一	68.4	90
4　位	斎藤　裕一	68.8	76
5　位	小沼　政彦	70.0	94
6　位	小林　弘美	70.8	90
7　位	橋本　秀次	70.8	90
8　位	大関　弘	71.0	83
9　位	松本　広志	71.2	76
10　位	大塚　勝己	71.6	74
女子の部		**ネット**	**グロス**
優　勝	小出ノリエ	71.0	83
準優勝	橋本　京子	71.8	103
3　位	安楽　敬子	75.4	85
4　位	鈴木　啓子	78.4	88
5　位	橋本　絹子	79.2	108
男子グロスの部		**スコア**	
優　勝	中尾靖一郎	72	
準優勝	鈴木　拓男	72	
3　位	伴　悟	73	
4　位	石島　英明	73	
5　位	大塚　勝己	74	
女子グロスの部		**スコア**	
優　勝	小出ノリエ	83	

高校生の交通マナーの向上をめざして

栃木地区高等学校交通問題連絡協議会

平成7年度栃木地区高等学校交通問題連絡協議会シンポジウムが11月16日、壬生中央公民館で同協議会（安生昌央会長）の主催で行われ、壬生高校など栃木地区の高校から生徒など約300名が参加しました。

シンポジウムでは、黒須病院の黒須靖院長による「交通事故の死亡例から見た教訓」と題した講演が行われたほか、「高校生の交通問題を考える」をテーマとしたパネルディスカッションが開かれ、パネリストとして栃木地区の高校生や留学生のほか、壬生高校のALTであるキャサリン・ユーラ・ジェニングスさんや、栃木地区女性ドライバークラブの人見イハ会長など5名を迎え、高校生の交通問題について参加者と共に話し合い、交通マナーを向上することがいかに大切かを改めて認識しました。

シンポジウムのようす

ナイターサッカー大会
壬生フットボールクラブが優勝

第11回壬生町ナイターサッカー大会が10月24日から11月1日までの6日間にわたって行われ、町内外から参加した16チームが熱戦を繰り広げました。

成績

優勝　壬生フットボールクラブ
準優勝　ちゃりおっとS'
3位　東武鉄道ルシファSC
　日立栃エレ

得点王（5点）
・中村剛士（壬生フットボールクラブ）
・田浦　太（日立栃エレ）
・茂垣春記（REVUE FC）

優勝の壬生フットボールクラブ

まどかチームが連覇

壬生町家庭婦人バレーボール協会（渡辺清雄会長）主催の第17回協会長杯家庭婦人バレーボール大会が11月5日、町総合運動場体育館で行われ、町内から10組のママさんチームが参加して、熱戦が繰り広げられました。

成績

優勝　まどかチーム
準優勝　九輪チーム
3位　むつみチーム、プリモチーム

優勝のまどかチーム

家族みんなで考えよう
―交通安全は家庭から―

いま、第2次交通戦争といわれ、年間1万人以上の方が交通事故で亡くなっています。交通事故をなくすためには、まず家族みんなで交通安全について話し合うことが大切です。

さまざまな機会に家族一人ひとりがそれぞれの立場で交通安全を考え、話し合ってみてはいかがでしょうか。

★話し合いのポイント★
・なぜ、交通事故は起きるのか
・どのような場所が危険なのか
・どうすれば交通事故を防げるか

芸文

文化協会文芸部選

短歌

戦友ねむるパプアの島に似し雲の夕茜して形変えゆく
　糸川　政敏

亡き友の思い出残る紙細工色あせたれど捨てずに置きぬ
　轟　ノリ

配達の人変りしか朝刊の差し入れ方がいつもとちがう
　黒尾　チエ

林道を抜ければ一家総出にて高原大根を商ってゐる
　野口　富代

俳句

オカリナと言う新涼の音色かな
　高山香代子

紫蘇の香や掌を洗っても洗っても
　糸川　ヤス

待ちぼうけいらいら見上ぐ鰯雲
　神林　文恵

てっぺんの柿は小鳥に委せけり
　海老沼勘一

総合産業まつり

多彩なイベントを満喫

町の商・工・農が一同に集まった、「商工会法施行35周年記念壬生町総合産業まつり」が11月12日、町総合運動場で開催されました。

会場では、農産物の即売会や各商店・メーカーなどの出店、紅白餅まき、ミニＳＬ、ミニ動物園、歌謡ショー、カラオケ大会などが催され、主婦や家族連れなどを中心とした多くの来場者が多彩なイベントを満喫していました。

成人式をむかえるあなたに・・・・・

20歳の約束　国民年金！

20歳になったら、大学・専修学校等の学生の方も国民年金に加入することになっています。

それは、在学中の不慮の事故により障害を負い、働けなくなった場合に障害基礎年金が受けられるように、また、20歳から60歳までの40年間保険料を納入することによって、65歳からの満額の年金（老齢基礎年金）を生涯受けることができるようにするためです。

もし、保険料の納め忘れがあると、病気やケガなどで障害者になったときに障害基礎年金が受けられなかったり、老齢基礎年金が減額してしまいます。保険料をきちんと納めることは年金受給者の年金を支えるだけでなく自分の年金受給権を確保することにもなるのです。

20歳になったら必ず、国民年金係に国民年金の加入手続きをしましょう。

◇問合せ先　町民生部住民課　☎82-1234（内線119）

まちのうごき

12月1日現在

総人口	39,903人	（ 30）
男	19,646人	（ 27）
女	20,257人	（ 3）
世帯数	12,279世帯	（ 16）

（ ）内は前月比

（Ｈ７国勢調査をもとに算出）

1月の納税等

●町県民税（4期）

●国民年金（1月分）

（納期限1月31日）

納期限間際は、納付窓口が大変込み合います。早めに納付しましょう。

天地総子コンサート

◎日　時　平成８年２月17日(土)
・開場 午後６時
・開演 午後６時30分

◎会　場　壬生中央公民館大ホール

◎共　演　壬生少年少女合唱団
（合唱団では、団員を募集しています。あなたも合唱団に参加して、コンサートに出場しませんか。）

◎入場料　１,５００円(全自由席)
※入場券は、12月22日から壬生中央公民館、稲葉・南犬飼出張所、壬生町施設振興公社事務所で取り扱います。

◎主　催　(財)壬生町施設振興公社

◎後　援　壬生町教育委員会

◎問合せ先　壬生中央公民館　☎82－０１０８

寄付

（社会福祉協議会）
（○数字は寄付回数）

金1万2千801円①　(財)壬生町施設振興公社親睦会様
金1千69円①　匿名様
金3万5千922円②　壬生町料飲業組合様
金5万9千792円④　東武ガス株式会社壬生営業所様
金1万円③　(有)県南環境様
金1万円③　ボランティアグループユーカリ様
金5千円②　おもちゃのまちシルバークラブ婦人部様
金2千円①　匿名様
金5千711円⑤　am.pm壬生本丸店様
金3千円①　丸山編物教室様
金1千円⑥　匿名様
金1万7千72円④　睦地区コミュニティ文化祭様
金5千円①　生活改善クラブ弥生会様
金1万2千496円㊺　渡辺寅八様
金6万円⑤　獨協医科大学病院看護部様
金5万円⑩　伏木美佐恵様